



多聞寺掲題にて

# たもんじ 2025年1月号 交流農園便り Vol.82



新春特別  
記念巻頭

## 広がる「たもんじ交流農園」の挑戦への期待

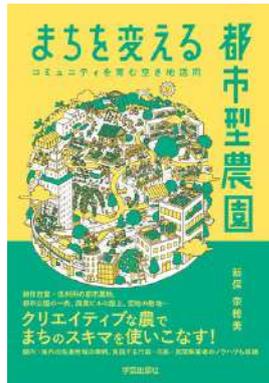
兵庫県立大学 緑環境景観マネジメント研究科 准教授 新保奈穂美



2025年になり、たもんじ交流農園も9年目に入られるとのこと、誠におめでとうございます。熱量が絶えず、発展し続ける農園の姿に、訪れるたび驚きをいただきます。昨年はノウドひきふねでの美味しいランチへ牛久さん・小川さん・水口さんに連れて行っていただき、そこで立派な寺島なすのプランターを拝見しました。農園を拠点に、まちのいろんなところへ交流が広がっているのだなと感じました。さらに日本のあちこちでも空き地を使ったコミュニティのための農園が増えています。東京という大都会の象徴的な場所で発展を続けるたもんじ交流農園がフラッグシップとなっていることは間違いありません。

さて、いま皆様が力を入れようとしてされている「すみ里プロジェクト」ですが、農園から射程を広げ、すみだを里地里山とするという壮大なビジョンは、自然と人との関係性、人と人との関係性を再生するために大変重要と思います。効率化と引き換えに自然をないがしろにし気候変動が抑えられない世の中、ネットで自分の信条を同じくする人との交流ばかりになり互いの意見を受け付けられない人が増えているような世の中になってきています。現代版里地里山の実現で、自然との関わりをベースとした人の生活と、コミュニティでの支え合いを再び呼び戻す必要があります。

ただし、このプロジェクトの実現に向けさまざまな人の賛同を得るためには、アイデアが素晴らしいと思わせる一種のカリスマ性みたいなものと、一人ひとりの意識を変える地道な努力の両方が必要になってくるかと思えます。てらたまが有される人材の豊かさがあれば実現可能ではないでしょうか。皆様のこれまでの実績を思えば、釈迦に説法かと思えます。私も微力ながら力を尽くしますので、本年もよろしくお願ひいたします。



先生の著書「まちを変える都市型農園」

## なぜやるの？すみ里プロジェクト！

寺島玉ノ井まちづくり協議会 理事長 牛久光次



「ねえ、見て！ボクが植えた苗だよ。こっちはワタシ！早く大きくな～れ！」  
「さ～て、今日は収穫しよう。わーい、ボクも、ワタシも。じいちゃん、ばあちゃんも手伝って、カゴ持ってってくれる。ボクがチョコキンするから。ワタシもやらせて」そんな家族が。「今日はみんなで育てたお野菜を一緒に食べましょう！」「はーい、土がついてるからボク洗うね。じゃあワタシは切るね。」そんな児童や園児達が。「どう、この葉元気ないけど？〇月に収穫するには何を植えたら良いかな？」「ねえ、この収穫したお野菜使ってみんなでパーティしましょうよ♪」そんな声も聞こえてきますね。そんな

なコミュニティ農園が、遠くに行かなくても暮らしてるまちなかに、近くにある墨田区って素敵だね。土に触られるから小さな虫さんたちにも気づきまね。鳥も飛んできます。ピオトープの周りには生き物の宝庫です。畑に飽きた子ども達は芝生の上を転がったり、走り回ったりしてますね。樹木の多い森のようなところには枝も、伐採した木も有りますから、それを使って子ども達は思い思いに工夫して遊んでいますね。

そんな下町の平坦な街だからこそ、お花だけでなく食べられる野菜も栽培できるように。そして自然豊かな公園や空間が沢山ある墨田区に。そんな場所を連携させることで、まるですみだ全体が里地里山を感じられる。すみだの深い歴史も学び。そんな墨田区にしたい！

それが「すみ里プロジェクト」なのです。たもんじ交流農園の経験を活かせるてらたまだからこそ実現できる。これもてらたまのめざすまちづくり！



# 12/15 どんどこ紙相撲で「キングボス」が準優勝!!



12/15(日)第6回どんどこ! 巨大紙相撲北斎すみゆめ場所が、すみだリバーサイドホールにて開催され、40カ士が参加した中、皆川さん率いる多世代交流チームの『キングボス』が、人気投票第1位を獲得したのみならず、初出場ながら並居る強豪を次々と撃破し、準優勝に輝いた。

皆川さん談「皆様の温かい応援があったおかげで、まさかの人気投票1位と準優勝をいただくことができました!! 本当に感謝しています!!」

(尚、てらたまは抽選に漏れてしまい出場できませんでした)



- |               |   |                    |        |
|---------------|---|--------------------|--------|
| ○キングボス(東向島部屋) | — | ●うさくま太郎(亀沢部屋)      | 浴びせ倒し  |
| ○キングボス        | — | ●サイクロン・クロサイ(東向島部屋) | すずめ落とし |
| ○キングボス        | — | ●鏡川(高知県、青い空部屋)     | 寄り切り   |
| ○キングボス        | — | ●もみじん(キラキラ橘部屋)     | 押し出し   |
| ○キングボス        | — | ●しましまパンダちゃん(東向島部屋) | 下手投げ   |
| ●キングボス        | — | ○アラバスク山II(亀沢部屋)    | 引き落とし  |

# 12/22 恒例の「納会&餅つきイベント」絶賛大開催!



今回で2回目となる年末恒例「餅つきイベント」が、坂本さんの全面的なご協力のもと開催され、農園会員てらたま会員他多くのご家族連れのみなさんが、本物の餅つきと突き立てのおもちを楽しみました。

また今回は、小川さん・富澤さん他のウクレレ隊によるXmasソングコンサート、富澤さんリードの負けるが勝ちジャンケン大会等、来年へ継続が期待できる新たな企画で会場は大いに盛り上がりました。



納会&餅つきイベントに参加して 丸喜さん (青果リレー隊、写真関係のお仕事)



臼と杵を使った餅つきは人生で初めての経験でした。皆さんが楽しく餅つきしている様子を撮影してから自分もいざ体験! 餅つきの様子を見ているときは、「杵の見た目が軽そうだから余裕だな」と思っていたのですが、何度もついては腕がぐたびれてきて、なかなかの重労働…。

みんなで交代交代についてお餅は絶品でした! そして、次の日はしっかり筋肉痛になりました笑 (丸喜先生、いつも撮影して頂き有難うございます)



ウクレレ隊に指揮者として飛入り参加できて感激!!

武蔵野大学/小島さん



武蔵野大学の小島花梨です! 今回、餅つきイベントにはていこさんにお誘いいただきました。お餅を食べるのはもちろんですが、たもんじに集まる皆さんにお会いしたくて参加しました。みんなで一緒に食べるお餅は幸せがたくさん詰まっています、とても美味しかったです。また、急遽、小川さん率いるウクレレ隊にみとちゃんと一緒に参加することになりました! 私は指揮者として演奏に参加しましたが、ウクレレの素敵な音色と農園の皆さんの楽しそうな歌声が忘れられません。この様子を撮った動画は大切にしており、何度も見返しています。

私事ですが、3月に大学を卒業し、今年から社会人になります。東京に引っ越す予定なので、よりたもんじに遊びに行きやすくなると思います。



またお邪魔する際には、どうぞよろしくお願いいたします!



たもんじ交流農園餅つきイベントに初めて参加させていただきました。皆さんの笑顔とわきあいあいとした雰囲気印象的でした。準備、餅つき、料理をふるまっているとき、食べている時と子供から年長者まで幅広い世代で、冗談を言いあいながら皆さんの笑顔が絶えなかったです。

私も餅つきを体験しましたがアドバイスをいただいても上手につくことができず、そこはベテランの方の登場で美味しいお餅に仕上がっていました。初めての参加でも皆さん気さくに話しをしていただき、楽しい体験をすることができました。

カラコネからはホットクラフトコーラ等の試飲をさせていただきました。皆さんが興味を持って飲んでいただき、『美味しい』とコメントいただけたことはうれしかったです。次のイベントも楽しみにしています。



来年はもっとたくさんつきたい！

山口詩(うた)ちゃん (小学5年生)



12月22日に餅つきに参加しました。大好きなお餅がたくさん食べられました。いろんな種類がありました。きな粉、大根おろし、あんこ、胡麻。私はきな粉餅が好きで、沢山食べてしまいました。

餅つきと聞いていたのですが、お餅以外にも鯖やエビが焼かれていたのには驚きました。私は温かいコーラの味は少し苦手でしたがお母さんと弟は「美味しい！」とおかわりしていました。お天気もよく外で食べるのが気持ちよかったです！

餅つきをお母さんは貴重な体験だったね！と言いました。私は餅つきをした時にきねでお餅をもっとついてみたかったのですが、手早くしないとダメだから…と子どもは短い時間しかできませんでした。確かにきねは重かったので少しついただけでも大変でした。でも子どもだけでもっとたくさんついてお餅にしてみたいです！来年はもっとたくさんつけるように力をつけて餅つきをしたいです！



また雑草とりなんかもやりたいね

矢下さん/てらたま会員



農園はやっぱりいいね。みんな楽しそうだし、子供たちも笑っているし。お天気がよくてよかったですね。暖かいし。いや出てきてよかったですよ。

肩とヒザがね。なかなか調子が戻らないので、外出はついおっくうになってしまうけど、リハビリをなるべく楽しくやっています。

来年の抱負ですか、元気に過ごしたいね。もう少し元気になったら、また雑草とりなんかもやりたいね。



1/12(日) 新春恒例の「隅田川七福神巡り」開催！



1/12(日)てらたま協議会新春恒例の「隅田川七福神巡り」が開催され、24名のご参加を頂きました。

13時に「たもんじ交流農園」に集合した参加者は、先ず高木先生から七福神と毘沙門天のご説明を拝聴、多聞寺にお詣りした後、墨堤通りを超え防災団地の川側エリアで、牛久さんの解説により「御前裁畑跡地」や現在野菜畑化を提案している花壇等見学、てらたま協議会の活動について知って頂きました。

続く白鬚神社、向島百花園は、「七福神の謎」を交えて末林が、弘福寺・長命寺・三囲神社については、小山田さんから解説頂き、三囲神社

に到着したのは16:40分と閉門時間を10分過ぎていたにも関わらず、お願いして参詣させて頂き、何とか無事に七福神巡りを完了することが出来ました。ご参加頂いた皆様、とりわけ大勢でご参加頂いたカラフル・コネクターズの皆さま、ほぼ飛入り参加の足立学園ボランティア部の皆さん、イベントを盛り上げて頂き誠に有難うございました。



高木先生ご説明



多聞寺さんからいざ出発



御前裁畑見学



白鬚神社ご参拝



2017年から始まった「たもんじ交流農園」事業もこの3月で丸8年目になり、皆さんの汗水の結晶もバージョンアップを重ね、ほぼ完成形になったのではないのでしょうか？皆さんと楽しくここまでやれたのは感慨深いものがあります。

さて「NEXT STAGE」のお題を頂き、昔、寺島茄子之介たちは、何を夢見ていたか振り返ってみました。基本コンセプト「地域を耕す都市型農業公園」。出来たら嬉しい農園イメージのキーワードとして「バリアフリー、観光農園、食を楽しむ、雨水活用、自然を学ぶ（環境教育）、エコライフ、地域力を活かす、収穫祭、地域交流、再生可能エネルギー、地域防災」をあげています。何と既に全てを網羅しているのではないのでしょうか？！

そのため、次なるモノは難しいのですが、すみだ都市型に特化した実験型農園を妄想してみました。すみだの技術力を活かして農園から未来の地域課題解決を目指します。**①**雨水、井戸水を普段から飲める水に（雨水市民の会で実践中）**②**全ての水を雨水で（地下雨水タンク）**③**猛暑対策（パーゴラのミストシャワー、足冷やしの池）**④**壁面を畑に（ニラ、水耕栽培など）**⑤**壁面をギャラリーに（草花、△シの巣、苔+α）**⑥**シンボルトワー（+風力発電など）**⑦**生き物の種類を増やす（虫、蛙、鳥/家畜） いろいろ創造は膨らみますが、可能性を秘めている事は確かですね。



“てらたま農園部から”

第38回～今年も落葉たい肥を作ります！～



2024年の最終日曜日、農園にキャホー！とかワッショイワッショイの声！ 声は温室から、しかも狭い空間を何人もの人が歩き回っている!? 何事？と見ると、落ち葉フミフミ作業でした。中の一人にインタビューすると、「こうして大声上げて落ち葉を踏んづけていると、日ごろの憂さが吹っ飛びます！」。疲れそうだけど？「疲れるけど楽しいよ～。皆さんもよかったらどうぞ～」ということでした。

落ち葉は緑と花の学習園やあちこちから届いたもの、それを全部温室内に放り込み米ぬかを振り水を撒き、そして人間コンプレッサーが踏みつけて平らにならす、この作業を繰り返してミルフィーユ状にしていきます。そして落ち葉を発酵させて落葉たい肥を作るのですが、この発酵過程がなかなか手ごわい！ ハラハラドキドキの日々がしばらく続きそうです。こうして一汗かいた後、前週の餅つきの際残った餡（メンバーが冷凍保管していた）を使ったお汁粉タイムとなりました。

また、温室内にはたもんじ交流農園御用達の大工さん（いつもありがとうございます）によって、育苗用の棚が2段作られました。農園会員用の共用棚です、どんどん活用してくださいとのことです。※棚には黒いカゴと養生テープが置いてあるので、苗を置くときには迷子にならないよう、カゴにテープを貼って名前を付けることを忘れないようにしてくださいね。



水口アドバイザーご指導日: 2025/2/23(日) 3/23(日) 各 10:00～15:00 農園部作業日: 毎週日曜 8:30～  
 カンカラ三線「すみだ大江戸バンド発表会」: 2025/2/15(土) 14:30～場所・主催/すみだ生涯学習センター/「作って演奏してみよう」全3回の仕上げコンサート(皆川さんがこの企画の提案者)、入場無料、申込み不要  
 わいわいおしゃべりタイム: 2025/2/16(日) 10:30～ 農園のみんなの情報交換の場。食べ物飲み物各自持参。  
 Free Coffee フリーコーヒー: 1月・2月はお休みする予定です。



たもんじ交流農園便り  
 No.82 般 2025.1.21 発行  
 題字 田村風来門  
 編集 末林和之



てらたま協議会  
 (NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)  
 問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)  
 ▲セブン-イレブン 記念財団 (2018年 2020年に助成金を頂きました)

